

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第76回理事会議事録

日時:令和5年11月24日(金) 15:00~17:00

開催:ZOOMによるオンライン開催

出席者:大賀 正一(理事長)、菱木 知郎、真部 淳(第65回学術集会会長)、小川 千登世、
奥山 宏臣、塩飽 仁、多賀 崇、高橋 義行、滝 智彦、藤 浩、家原 知子、大植 孝治、
加藤 元博、富澤 大輔、山崎 文之、義岡 孝子、(以上理事)
堀 浩樹(以上監事)

足立 壮一(第66回学術集会会長)、田尻 達郎(第67回学術集会会長)

欠席者:余谷 暢之(以上理事)、瀧本 康史(以上監事)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中16名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事大賀 正一は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)、定時社員総会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 第66回(2024年)学術集会会期変更について

第66回学術集会の足立会長より、他大会との兼ね合いで、学会会期が 2024年12月13日(金)~15日(日)に変更されたことが述べられ、異議なく承認された。

3. 日本専門医機構サブスペシャルティ領域専門医の申請に関する必要事項について

専門医制度委員会 富澤理担当理事より、日本専門医機構サブスペシャルティ領域専門医の申請について、前回理事会で「小児腫瘍領域(小児腫瘍専門医)」として申請をすることが承認されたことが報告された。また、小児科領域を基本領域(1階部分)として、「小児腫瘍専門医」と「血液専門医」の双方をそれぞれ2階部分とする研修制度を目指すこと、これに伴い、今後は研修内容の修正など制度設計の修正を行い、書類提出などを進めることが異議なく承認された。なお、学会員へ向けての説明会なども実施することとなった。

4. 「新生児から成人までに発症する特発性血栓症の診療ガイド」出版の学会支援について

大賀理事長より、現在進行中の「新生児から成人までに発症する特発性血栓症の診療ガイド」の出版費用について、学会から出版費用の一部を支援することが提案され、承認された。また今後、学会承認として出版されるガイドラインについては、学会より費用の支援ができるよう、随時検討することとなった。

5. NPO-OSCR との業務委託契約(2023年度)について

学術調査委員会の木下担当理事より、「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」に関するデータの収集管理業務委託について契約書と見積書が示され異議なく承認された。

6. 第65回学術集会優秀ポスター2023について

学術集会プログラム委員会 家原担当理事より、第65回学術集会の全235演題のポスター発表の中から、委員会にて選定した9演題について示され、異議なく承認された。

7.LCAS 事業について

大賀理事長より、厚生労働省より今後の LCAS 事業形態について連絡を受けたことが示され、これまでの委託事業形態の継続ではなく、令和6年度は事業主体を学会とした補助金支出形態の方向とする学会の方針が確認され、異議なく承認された。

8.2024年度教育セミナーの開催について

教育・研修委員会 大植担当理事より、2024 年 7 月 7 日開催に開催する教育セミナーの共催企業公募と講師について資料に示され、異議なく承認された。企業公募については学会ホームページに掲載することとなった。

9.2024役員選挙について

2024 年に実施する役員選挙の候補者について、候補者が領域別定数に満たない場合の対応について、定款施行細則(理事の選任)第4条の「11. 候補者が領域別定数に満たない場合は選挙管理委員会の答申により理事会が候補者を推薦することができる。」に則り、推薦候補の検討が行われた。また今後、専門領域の分け方などについて再検討を行う旨が提案された。

10.SIOP ASIA の協賛について

SIOP ASIA より打診のあった協賛について、JCCG と共同で協賛を行うことが承認された。詳細は今後 JCCG と検討をすすめることとなった。

11.寄付申込みについて

個人と市民団体からの 2 件の寄付申込みについて資料で示され、異議なく承認された。

12.法定調書関連の業務について

庶務・財務委員会 菱木担当理事より、法定調書提出に関わる業務について新たに税理士法人へ業務を委託することが資料に示され、異議なく承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会報告

真部会長より、11月から 12 月下旬まで開始されるオンデマンド配信と、学術集会参加者へのアンケート調査の実施について報告された。

2.第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

田尻会長より、2025年11月19日(水)～21(金)の日程で開催される第67回学術集会について、会場を検討中であることが報告された。

3.学術・調査委員会報告

学術・研究委員会 木下担当理事より、研究審査委員会と学術調査委員会にて開催された合同会議について報告された。

①研究審査委員会内規の確認

特に「5. 学会登録データの二次利用を行う研究の場合(例外)」について、両委員会で認識を共有と学会員への周知について。

②現在審査中の研究課題 2 つの進捗について

③学術・調査委員会より下記についての報告

- ・2022 年度疾患登録データは 2023 年学会にてポスター掲示し、学会 HP にも掲載した。
- ・20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究は ver4 より ver5 へ変更となり、今後一括審査の予定。(主な変更点は研究期間の延長)
- ・疫学研究の計画書作成支援は血液腫瘍のデータセンター(名古屋医療センター)、説明同意文書作成支援は固形腫瘍のデータセンター(成育医療センター)が行っている。研究の主体は学会

理事長であり、一括審査の手続きは理事長施設が担っている。また、研究企画運営は学術調査委員会にある。理事長、委員会共に任期満了となると引継ぎが必要になるため、いずれは上記の整理が必要か。現状では今の方法ですすめる。

4.教育・研修委員会報告

教育・研修委員会 大植担当理事より、下記について報告された。

- ・2023 年度開催のCLIC研修について
- ・地区セミナーの開催について
- ・2024 年度学術集会での教育セッションについては、会期中の開催は避けてオンデマンド配信とする

5.保険診療委員会報告

保険診療委員会 小川担当理事より、未承認薬適用検討会議より、患者会より申請のあったナキシタマブの意見書の提出を求められており現在対応中である事が報告された。

6.ゲノム診療・細胞療法委員会報告

大賀理事長より、ゲノム診療・細胞療法委員会の活動の一環として、関連勉強会の支援を、JCCGとの連携も図りながら積極的に行うことについて提案された。

7.理事長報告

大賀理事長より、理事長報告として以下の 3 件について報告された。

- ・小児科学会 第 5 回 JPS-SPR Fostering Leadership Program 学会推薦公募について
- ・第 6 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会(2024 年 5 月 11-12 日@聖路加国際大学)後援依頼について
- ・日本医学会会長 役員選挙結果について

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和 5 年 11 月 24 日

日本小児血液・がん学会 第 76 回理事会

理事長 大賀正一

監事 堀浩樹